

認知症に処方する薬は

いと思います。

早くもクリスマスの飾り付けを目にするようになりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

一年が過ぎる頃は、また一つ年齢を重ねることを感じ、自身のお体や認知のことを思うのは当然のことです。今回は知つておきたい認知症の治療についてお伝えした

想法など）が行われています。

認知症は、現代医学では完治は難しいとされていますが、年齢を経るにつれ、誰もがなる可能性があります。特に本人は

自覚しづらく、またそれを認めたくない気持ちも強いため、支援につながりにくいこともあります。

主な症状は、記憶や時間、場所などの判断ができなくなる「中核症状」、それに伴ううつ症状や興奮、不眠などの「周辺症状」が見られます。

治療には、進行と症状を抑えるための薬物療法と、脳を活性化させる非薬物療法（音楽療法や回

を緩和したり進行を遅らせたりすることが目的になるのが現状です。薬物療法は、中核症状を和らげて進行を抑えることを

大切なのは、認知症を正しく知り、恐れずに、早期の発見と治療で進行を遅らせること。気に入る場合は早めにかかりつけ医にご相談ください。一つ歳を重ねることで皆さまが自分らしい人生を憂いなく楽しみ過ごせますように。

（薬剤師 西 美香）



アモヤマ話

[84]

松阪地区薬剤師会